

北海道浮魚ニュース

平成 11 (1999) 年度 1 号 (通巻 No.47)

1999 年 4 月 30 日

北海道立中央水産試験場	Tel : 0135-23-8707	Fax : 0135-23-8709
釧路水産試験場	Tel : 0154-23-6222	Fax : 0154-23-6225
函館水産試験場	Tel : 0138-57-5997	Fax : 0138-57-5991
稚内水産試験場	Tel : 0162-23-2126	Fax : 0162-23-2134
網走水産試験場	Tel : 0152-43-4591	Fax : 0152-43-4593

道西日本海スルメイカ資源動向

日本海区水産研究所から日本海南西部海域におけるスルメイカ稚仔の分布情報が発表されましたので、これを含めて道西日本海スルメイカ資源動向をお知らせします。

1) 漁獲量 (図 1)

1998 年 (昨年) の道西日本海のスルメイカ漁獲量は 26,031 トンで、1997 年の 85% 程度にとどまり、海域別では道南海域で大きく減少した。漁獲量の水準は近年 (1989 年以降) の高水準の中では低かった。

2) 漁船の隻数と CPUE (図 2)

1998 年の小型いか釣り漁船の CPUE (1 隻 1 日当たりの水揚げ数量) は、松前港で前年に比べ大きく減少し、余市・稚内港でもやや減少した。一方、延隻数は稚内港で大きく増加し、道央以北で漁獲努力量が増加した。

3) 稚仔分布量 (図 3 : 日本海区水産研究所資料)

毎年、秋季に日本海南西部海域で行われているスルメイカ稚仔調査の結果、1999 年 (今年) の漁獲対象となる 1998 年秋季の稚仔分布量は前年に比べ減少し、近年の高水準の中では低めとなっている。

道西日本海のスルメイカ資源状況は、近年 (1989 年以降) 比較的高い水準を維持してきた。しかし、1998 年は漁獲量、CPUE および稚仔分布量ともに近年では低い水準であり、資源水準がやや低下した可能性があるため、今後の動向に注意を要する。

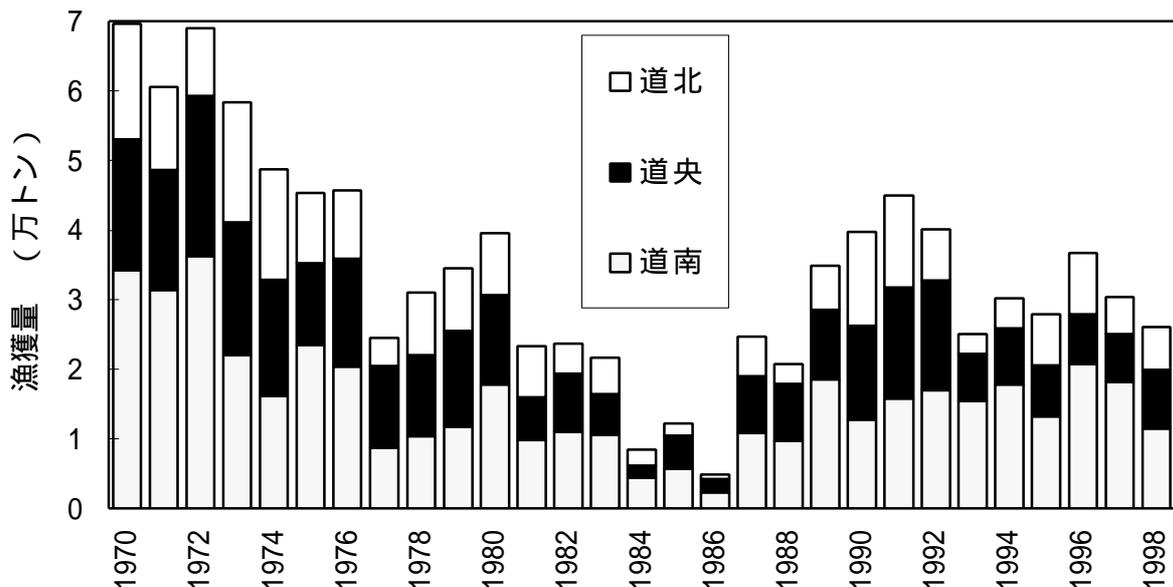


図 1 北海道日本海側におけるスルメイカ漁獲量の経年変化

注) 道南: 渡島 (松前・福島町のみ)・檜山支庁、道央: 後志・石狩支庁、道北: 留萌・宗谷支庁

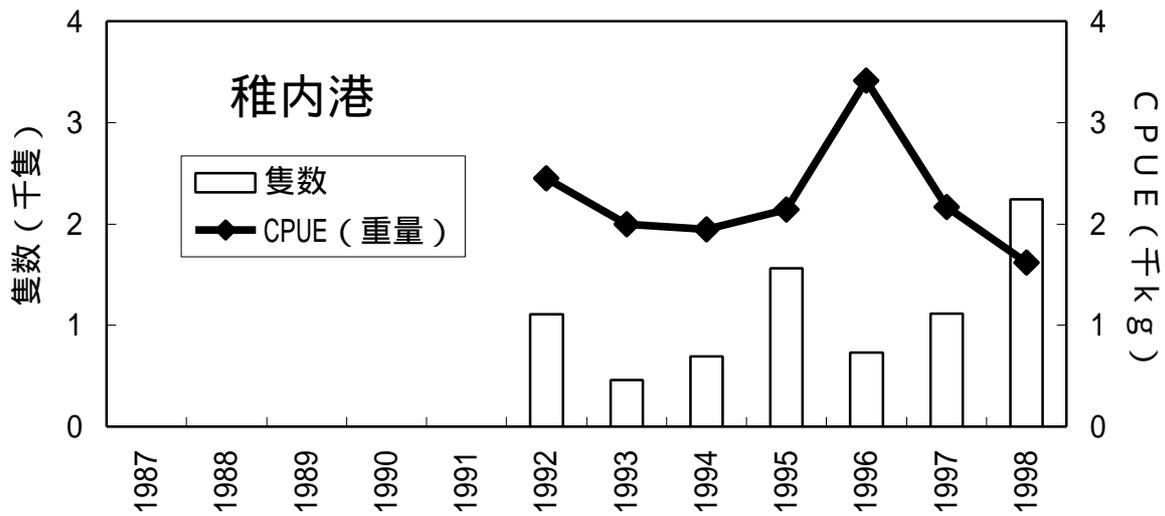
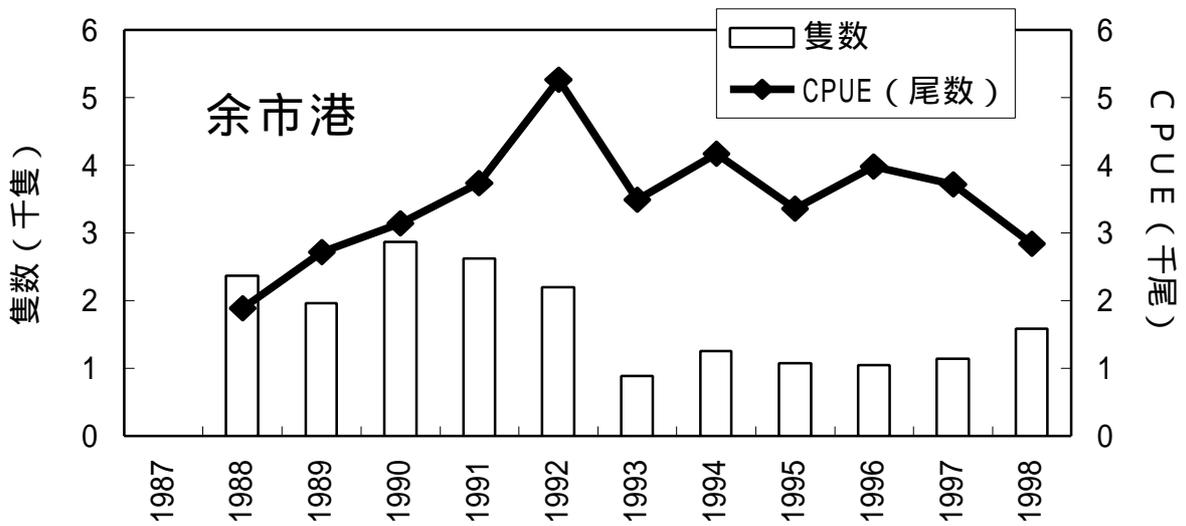
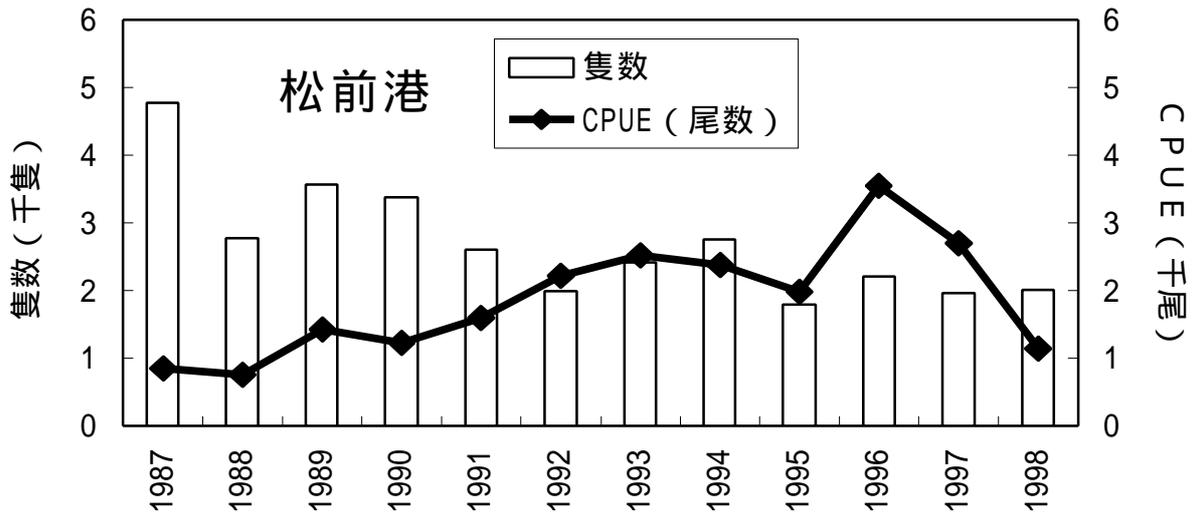


図2 松前・余市・稚内港における小型いか釣船の水揚げ隻数と CPUE

注) CPUE (千尾): 1 隻 1 日当たりの平均漁獲尾数

CPUE (千kg): " 重量

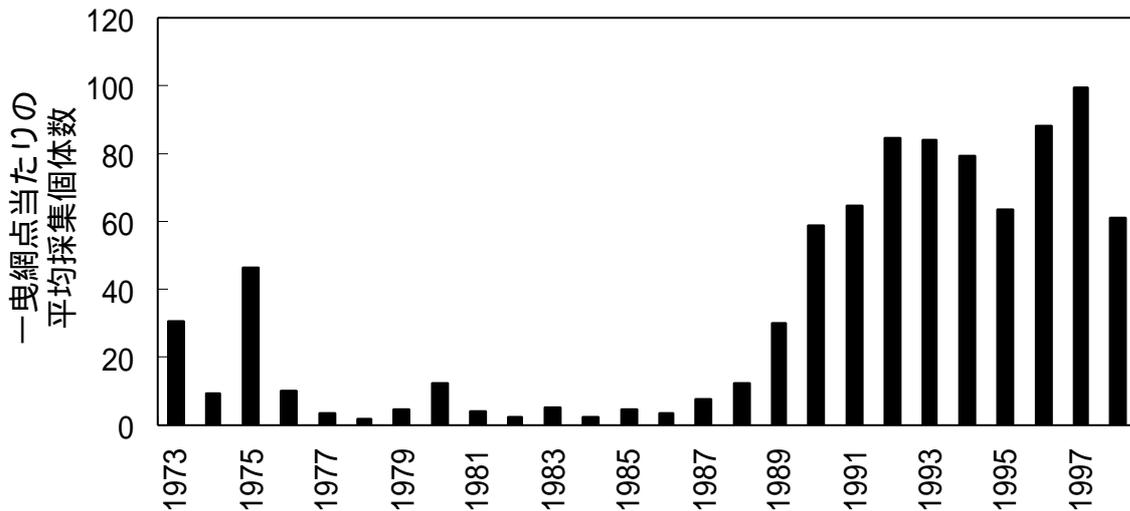


図3 日本海南西部における秋季のスルメイカ稚仔分布量の経年変化 (80R ネット)
(日本海区水産研究所 資料)

調査船調査予定

北海道立水産試験場では^{うきうお}浮魚調査、^{そこうお}底魚調査、海洋観測などの調査船調査を行っています。以下に、今年度の浮魚類調査の予定をお知らせします。

おやしお丸 (中央水試) ... 海域：道央～道北日本海

スルメイカ調査 6月下旬～7月上旬、8月下旬～9月上旬

北辰丸 (釧路水試) ... 海域：道東太平洋

イカ類調査 6月上旬～中旬、8月下旬、10月中旬～下旬

マサバ・マイワシ調査 6月下旬～7月上旬、8月下旬～9月上旬

サンマ調査 7月上旬～下旬、9月中旬～下旬

サンマ・マサバ調査 10月下旬

金星丸 (函館水試) ... 海域：道南日本海～津軽海峡～道南太平洋

スルメイカ調査 5月下旬～6月上旬、6月下旬～7月上旬、8月上旬、8月下旬～9月上旬、10月中旬

スルメ・ヤリイカ調査 11月中旬

ヤリイカ調査 2月下旬～3月上旬

北洋丸 (稚内水試) ... 海域：道北日本海～オホーツク海

スルメイカ調査 11月上旬～中旬

サンマ調査 9月上旬、9月下旬～10月上旬

(文責：中央水試資源管理部)